

学校跡地利活用地元説明会質疑応答

三田ケ谷小学校

利活用の全般について

Q：現時点では利活用の具体的な内容は決定していないとのことでしょうか。

A：利活用の内容については決定していない。

Q：利活用案を検討する上を地域の歴史と文化等を調べ提案していただくようなコンサルタントの活用はしているのか。

A：羽生市では、コンサルタントには委託せず、内部検討で進めている。約1,000万円の費用がかかる等の理由から、羽生市では、担当職員を1名増員することで対応している。

Q：跡地利活用について、発展するためというより、地域が豊かに生活できれぱと考えている。周りからも環境が良いと言われる地域となればと考えている。そのために、農業面を生かすような市としての協力を含めて検討していただきたい。

A：市としても三田ケ谷地区を良くしたいという思いで進めているので、ご理解いただきたい。

Q：跡地利用において、1つの企業にすべてお貸しするのか、区画分けし、複数企業で活用することも可能なのか。

A：複数企業での活用については、柔軟に対応したい。体育館を使う方、校舎を使う方、校庭を使う方の様に広く使えるような形もあり得ると考えている。今後、考えていきたい。

Q：民間利用という案は理解するしかないと考えている。選考委員会はどのように実施するのか。

A：メンバーは市職員の他に、外部の方にも入っていただく。民間企業に利用いただくにあたり、企業の経営状況を判断できる専門家にも入っていただきたい。

Q：敷地西側にある慰霊碑の取り扱いについての考え方を教えてほしい。

A：慰霊碑については、現在対応を検討しているところである。慰霊碑の大きさやこれまでの由来や歩みを踏まえても動かせるものとは考えていない。仮に売却となった場合は、他の部分と切り分けて、単独で慰霊碑部分に出入りができるように整備する。

地域住民の意向把握について

Q：企業誘致ありきで進めているように感じたが、今後意向把握の機会はあるのか。地元の声は反映されるのか。

A：地区の座談会や本日の説明会をご意見を伺う場や説明の機会として設けさせていただいた。今後、ご意見等があれば、財政課又は企業誘致推進課にいただきたい。

Q：先日開催された市民座談会では、1時間と時間が短く、市政報告のような形で一方的に説明を聞くような内容であったため、それを以て意見を伺ったと言われても納得できない。

A：意見の吸い上げの機会が少ないとのことで申し訳ない。今年中に個別計画を策定できればと考え進めているが、意見の吸い上げが終了したとは考えていない。私どもも、ご意見をいただいた上でどのような方法でより良いものができるのか考えている。何かあれば個別にいただければと考えている。

Q：跡地の利活用について、どんなものができるか心配である。2月の方針や条件の決定前にもう一度地域住民との意見交換の場を設けるべきではないか。

A：持ち帰らせていただき、検討する。開催の際にはご協力をお願いしたい。

跡地の環境保全について

Q：スケジュールについて、4月公募、10月引き渡しとなっている。4月以降、夏の雑草対策等、10月に事業者が決まらなかった場合はどうするのか。

A：地域の皆様には、日ごろの維持管理をしていただき感謝申し上げます。

市としても跡地利活用を早く決めることが大切と考えている。仮に、事業者が決まらない場合は、学校の敷地や周辺を皆様のご心配とならないように市で適切に管理を行っていく。

Q：利活用の内容が工場となった場合、周辺の環境や農地に影響が出ないように排水対策をしっかりとやってもらいたい。

A：ご指摘の通りと考えている。民間活用を進めていく中で、三田ヶ谷地区の自然景観や環境が破壊されるのはまずいと考えている。跡地利用を進めていく中で周辺環境が悪くなることのないようにしたい。

防災について

Q：三田ヶ谷地区では、5 mの浸水が想定される箇所があると伺ったが、洪水発生リスクへの対策費用や避難施設を設ける場合の費用は。

A：三田ヶ谷地区の洪水対策においては、利根川を考慮する必要がある。洪水ハザードマップによると利根川の堤防が決壊した場合、3～5 mの浸水が予想されている。ハード面の支援では、国による堤防の拡張等をいかに推進していただくかが重要であると考えている。

ソフト面では、いかに避難するかが大切である。三田ヶ谷小学校が閉校となる分を他の施設でカバーできるように進める。また、防災行政無線等による情報発信、要支援者リストの共有及び活用、バスを利用した広域避難等を考えている。また、バスの活用については今後避難訓練の実施を考えている。